







ああ…
んああつ！

い…やあ…あつ♡
あつ♡あつ♡
だ…だめ…つ♡

グチュッ！
グチュッ！

藤野くん…
ああん♡
ダメ…
ああん♡！

ここも
ダメですか？

あん♡
そそこ♡

あん♡
あん♡

八潮さん…
嫌がらないと特訓に…

ムリ…
無理よお…つ
す…好き
なんだものっ！

ちゅん♡

ちゅん♡

ちゅん♡

ちゅん♡



頑張つて
八潮さん



はい だから
『言えない』つて
言わないと



何が好き
なんですか

こ…これも
…特訓？



えっ!?
イヤあつ…
抜かないでえっ!

そこまでイヤなら
…やめましょう

『い 言えない…
ダメ やめて…』
意地悪…言わせて
…言わせてっ



やだ やだあ…
入れてえっ!

もう特訓なんて
無理…っ!

ふん!
ずん!

pchw!
pchw!

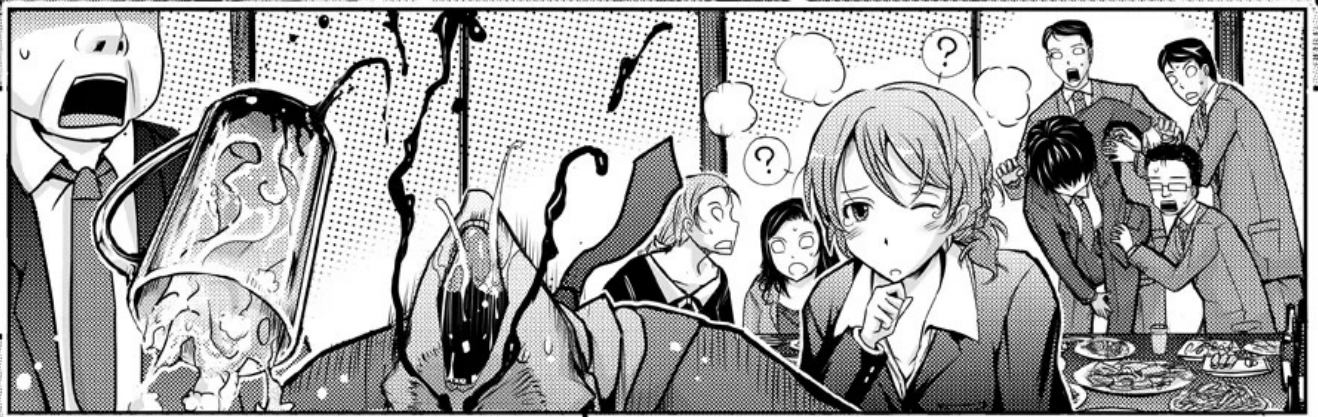
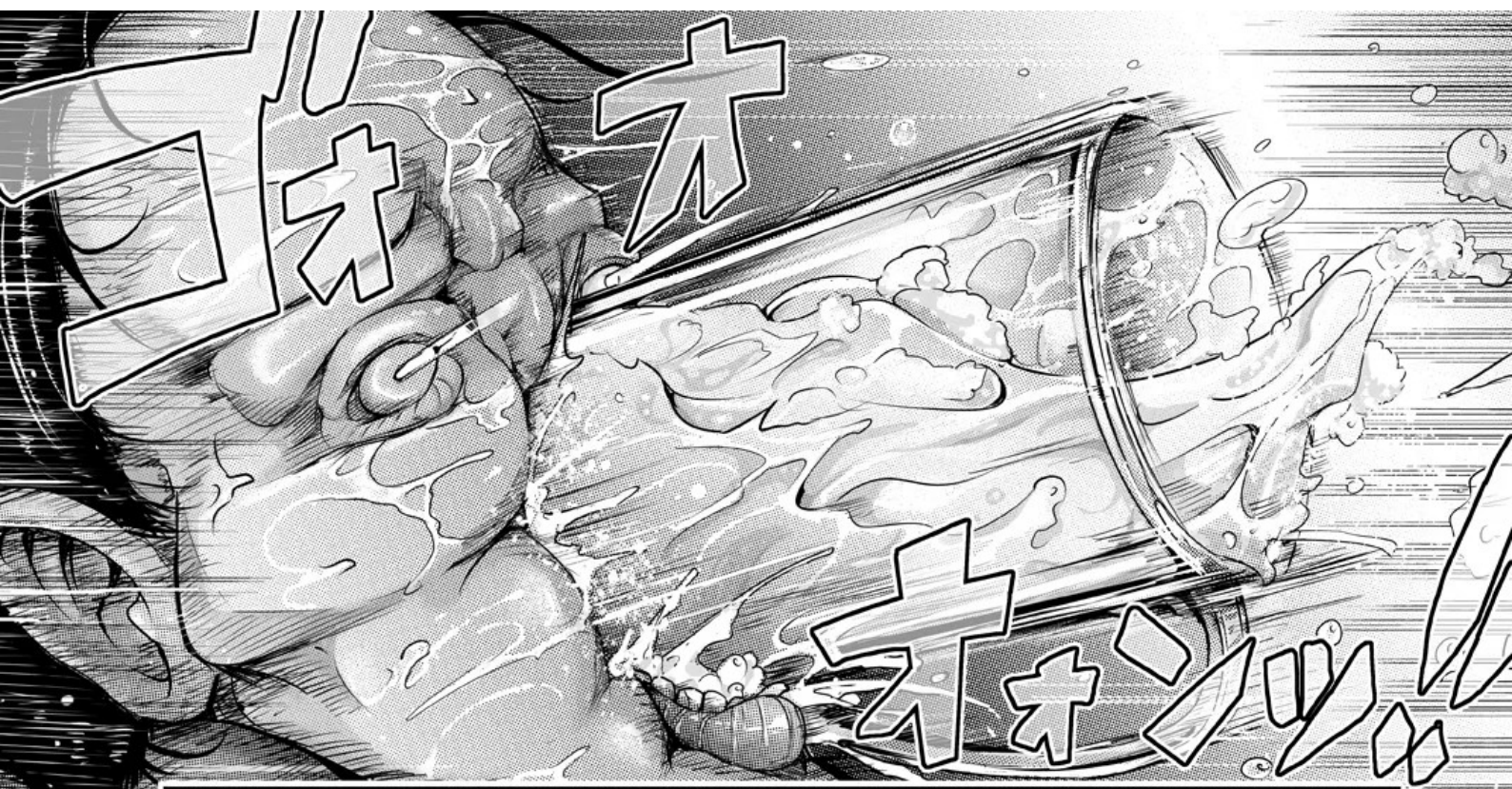
おねがい おチンポっ!
チンポ欲しいのおっ!

ちんぽっ!
チンポっ!











カチッ

ピーッ

やっほーい
洋子です♪

財布とケータイ
入ってるカバン
預かってるから
明日会社で渡すわ

王子様も
一緒なんですよ？

こつちの後始末は私に
まかせて たっぷり
楽しみな〜♪

ウヘ〜



もう…洋子も十分
セクハラ発言よね

家のカギは持ってたし
歩いて帰れる距離で
助かったわ

ワビィ…

……すみません

カッとなっちゃって
……つい



そんな顔しないで

でもビックリ
しちゃったな
藤野くんが怒るなんて

カチャ…



そういえば元野球部
だったよね
ピッチャーだったの？

とぅっ！

まあ一応…

さっきみたいな
投球ができれば
レギュラーだったん
でしょうけどね



……
ありがとう



八潮さん…

あのままガマンしても
もっと酷いと言われて
ただろうし…

以前からあんな風に
思われてる節は
あったから
私 いくつか黙って
辞めちゃうのかな…
って思ってた

私も言葉のボールを
力いっぱい投げ返せば
皆からレギュラーだと
認められたのかな

スウ…ッ



でも 可哀相な
ヤツだと思わないで

私にも醜い裏の顔が
あるんだから



ああいう場で弱くて
健気な女って
思わせといて…

誰よりも勝ち組になって
惨めな男たちを慫慂無礼な
笑みで見下すデキる女…

キミも私が出世
したことを証明する
ための存在

管理職としての
評価を高めるための
『部下一号』くん

八方美人のウラに
ある顔は

そんな
自己中オンナ



——になり
たかったんだけど

もー全然ダメ

二倍疲れただけで
結局どっちの顔も
上手くできなかったわ

出世欲があるように
見えなかったから
意外でした

ふふ そうね

そもそも何か目的や
目標があったわけじゃ
ないから



耐えてきた時間を
無駄にしたくない
現状を抜け出して
楽になりたい

ただ それだけ
逃げられるわけ
はないのに

だから
これで良かったの

私が嫌な上司になってたら
キミも嫌な人になって
誰からも嫌われたらどうし

きっと私はキミに
とって ただの
『上司一号』になる







でも…もし転職しても
アイツ
背戸口みたいなヤツが
いるかもしれないですね

そうね

どちらにしろ
私もイヤな事はイヤ
だって言えるように
ならなきゃね

ふふっ

72 72♡

どうしたんですか？



今
思いついちゃった

もしキミなら私に
どんなセクハラ
するのかな…って

聞かせて欲しいな♪

ドキッ

え!?



ちよつと練習…ううん
特訓してみようか

と特訓？
セクハラの？

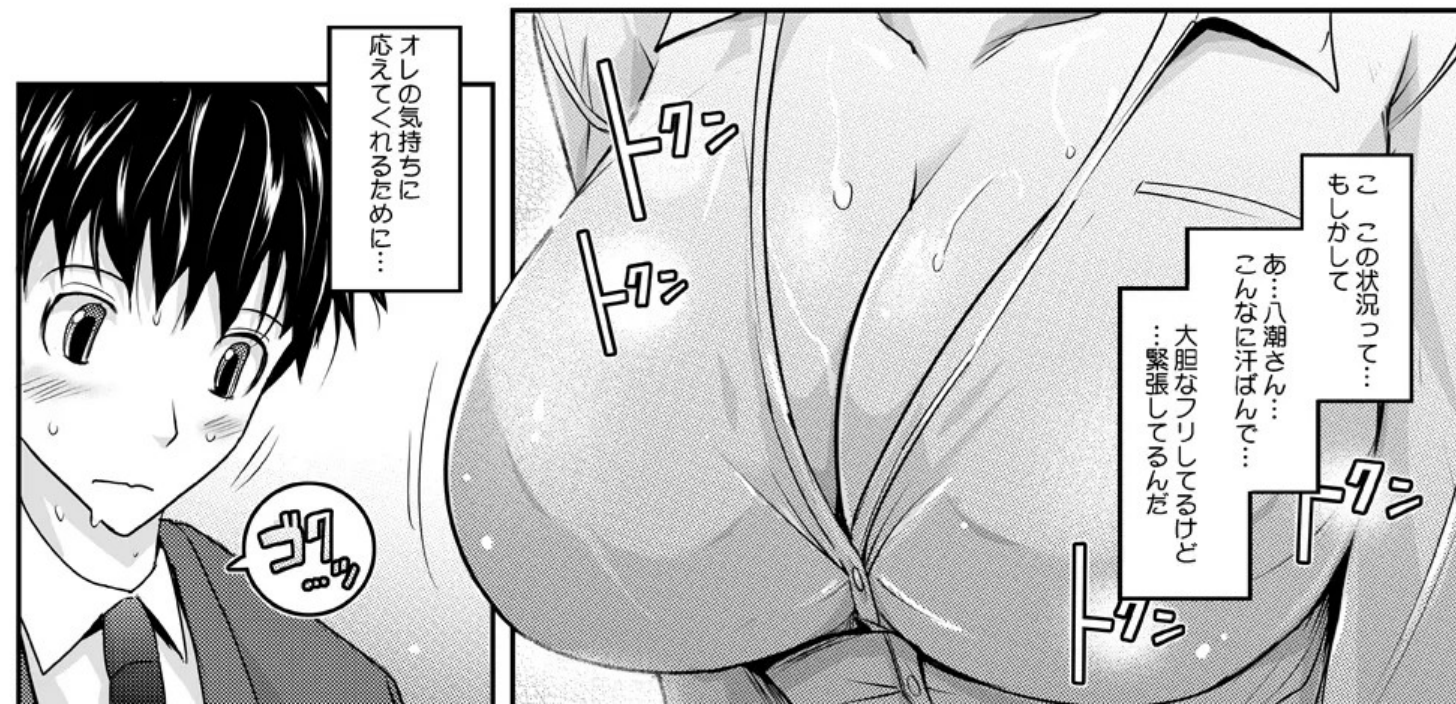
そう『お尻触らせろ』
とか『誰とでもやってん
だろ』とか

遠慮せずに厳しく
やってみて♪

ギシッ

え…ええっ
そんなこと…

上司命令♪



この状況って…
もしかして

あ…八潮さん…
こんなに汗ばんで…

大胆なフリしてるけど
…緊張してるんだ

オレの気持ちに
応えてくれるために…

ゴッ

わかりました
厳しくいきますからね

ギョッ

ああの まずは
セクハラ発言の…

はい
分かってますよ

八潮さん…

アイツ
背戸口のニオイがします

顔も髪も首も…胸も…
アイツのタバコと…口臭
まるで舐めまわされた
みたいな…

ちよ…ちよと待って！
ストップ—っ！

あ あれは…事故で
ヤダ…ホントに？
ホントにニオイ
ついてる？

だから
消させてください
おちついて

…え？

特訓って言っても
貴女が耐える『だけ』じゃ
今と変わらない

だからといって僕が
貴女を傷つける言葉から
ずっと護衛できるわけ
でもない

だから僕は
八潮さんが耐えた苦痛を
消したい…癒したい

臭いも汚れも傷も
愛せるように

これは僕にとっても
特訓です

…うん

よろしく
お願いします

甘いキスは一瞬—
一気に燃え上がると



すごい八潮さん…
想像してたよりも
ずっと…

ずっと…
なに？

キレイだ

見惚れて
しまうほど…

あいえ…
ドスケベな
身体ですね

そ…そんな…

あいや 特訓
特訓です ヤラハラの
八潮さんもイヤ
がらないと

あ…そ…
そうね

い…イヤ…
そんなこと…
やめて…
ああ…んっ

『やめて』？ あの男の
ニオイのほうがいいって
ことですね？

そ…そんなんじや…
あああんっ！
い 意地悪ううっ！



一生懸命やるから…
あ あなたも…
どうすれば気持ち
いいか…とか

どこが気持ちいいとか
…教えてくれる？

もう その言葉だけで
出ちやいそうなん
ですけど

うう…私 今…
すっごく恥ずかしい
こと言ったね

不思議ですよね

女性が恥ずかしい事
言うところなのに興奮
するんですから

わ…すこ…い

濡れてる…ね

さっきからパンツの
中で蒸れてました

臭くてすみません

臭い…かな…
でもキライ
じゃない…

だって…私のこと
見て興奮してくれた
証だもの

キライになる
わけ…ない…

おしろ…
嬉しい…♡

ん…ううっ
んぐうっ

ん…っ

ん



んんううう

♡♡♡

セッ!
セッ!
セッ!

ゴッ
ゴッ

んぐっ♡
んぐっ♡

あああ...きた...
いい...
いい...♡

美味しい...
おいしいの...♡

熱くて...濃くて...
すっぱくて...臭いの...♡

ゴッ!
ゴッ!

キョウ
ウッ♡





たった一人の部下
であることは幸せ
でしたけど
同時に直属の上司
という壁がもどかし
かったんです

はじめまして
貴方が藤野くんね
課長の八潮のどか
です よろしくね

課長って呼ばれるの
照れくさいから
名前で呼んでね

スーツに包まれた
柔らかな裸を想像
して...

彼氏いるのかな
...とか

自宅ではドスケベな
下着つけてセックス
してんのかなあ...とか

はい！
よろしく
お願いします！

マンコ見たい
おっぱい触りたい
毎日セックスして
全身を精液
まみれにしたい

そんな妄想が
消えなくてっ
いつもいつも勃起
してっ キンタマ
腫らせてましたっ

こんなセクハラ願望
貴女に会うまで一度も
考えたことなかった！
だから今 この状況が
夢みたいなんです！

あぁっ…そ　そ…
想像してたのね…♡

いつも…チンポ…
チンポ勃起させて
くれてたなんて…っ！

とぎや

とぎや

でも…でも
そんなの…ダメえ…っ♡

んあ

とぎや

んあ
んあ

とぎや
とぎや

わ私…もう…
一緒に働けないよ…っ

か　会社で…キミの
チンポのことばかり
…考えて…

んあ

とぎや
とぎや

とぎや
とぎや

とぎや
とぎや

ああ…が　ガマン
できなくなるうっ！

八潮さん…
ガマンしないでっ
もつとチンポ
好きになっつ！

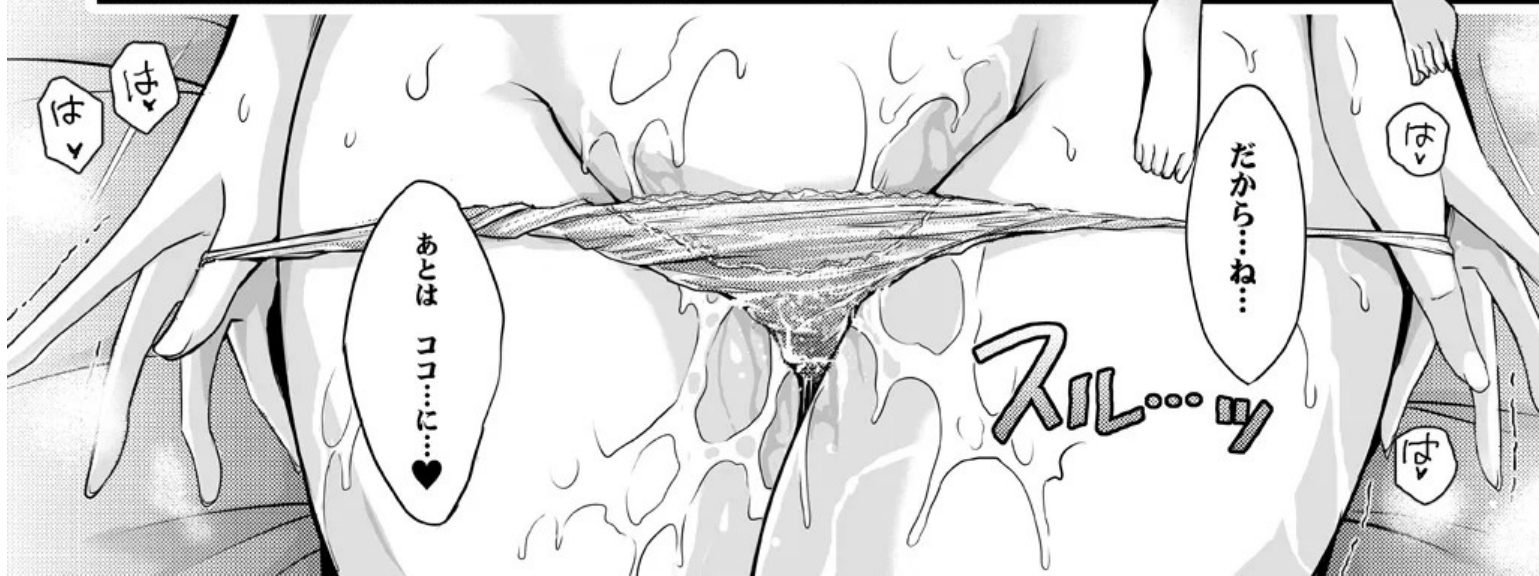
ああ…♡
す…好きっ！

チンポ…チンポ…
好きいいっ♡♡

とぎや
とぎや

とぎや
とぎや







ほ ホントに
いいんですね

うん...

プキ
プキ

あ あのだんだん
恥ずかしくなっ
てくるから...

早く...して...

プン

はい

あ

トクン



はい...っ
すみません

こ...ですか

あ...
う...うん...

く...あああつ

グッ

グッ

は...ああ...っ
んああっ!♡



んあつ!
あああつ♡

サワサワ

おあ♡

んああつ…
あん♡

あ♡
あああつ!

ゲチュッ!

ゲチュッ!

ゲチュッ!

ゲチュッ!

ゲチュッ!

ビクッ!

ビクッ!

ズググ

ズググ

ズググ

もろもろ
ちゅあつ♡

いい…あああつ…
気持ちいい♡

わ私も…
あああつ♡

ふ 藤野…
くんっ!

おあ♡
んあ♡

ズググ
ズググ



藤野くん…
もう…もう…っ

わっ

ぶはあ…今の…
今のキス…
すこい…っ♡

んく…♡
んく…♡
んく…♡



わたし…怖いよっ
自分が…こんな
オナナだっ
知らなかった…

こんなに淫乱だっ
…知らなかった…っ
いいの？ こんな
私でいいの？

うんっ
してえ…っ♡
私を…私を…
あなたのチンポ女に
してえ…っ♡

もちろんですっ
ボクだけの憧れ
だった八潮さん…
もって犯して
ボクだけのチンポ女に
したいですっ！

ギシギシッ
ギシギシッ

ギシギシッ





あああーっ♡♡♡

あ...あ...♡
せーえき...出てる...
出てるう...♡

は...あ...
嬉しい...♡

藤野くん...
藤野くん...♡

痛い言葉も
苦い弱さも
重苦しい自己愛も

甘く溶けていく

その夜
夢に甘えるように

私たちは何度も
『特訓』を重ねた

グルル...ツ

ズン...ズン...

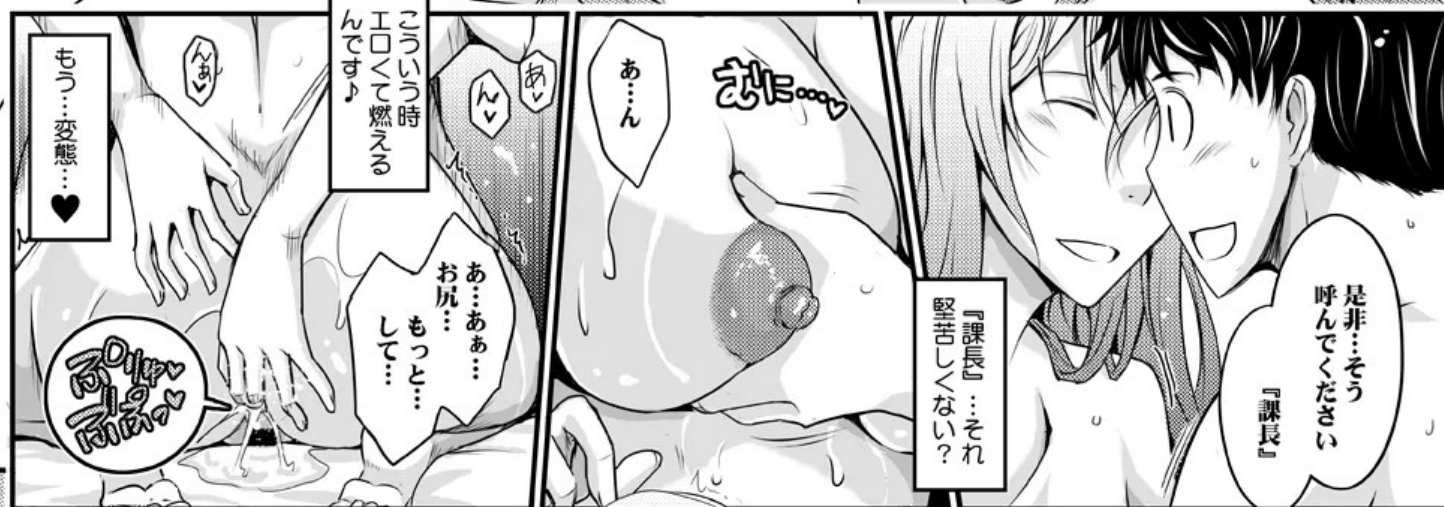




『ナスくん』

…ってね

最初に洋子がそう
呼んだ時『カワイイな』
って思ったの♡



是非…そう
呼んでください
『課長』

『課長』…それ
堅苦しくない？

なに…♡

あ…ん

こういう時
エロくて燃える
んです♪

あ…ああ…
お尻…
もっど…
して…

もう…変態…♡



すはー
すはー

ビクン♡
ビクン♡

課長のお尻の…
ケツ穴のニオイ…
エロいです…

だだめよ…
そんな言い方…っ

下品すぎよ…っ

言ってみてください
一回だけ

い…イヤ…っ
言ったら…私…
また…♡

お願いします
課長

もう…もう…♡
ナスくんの
変態っ 変態いつ♡

一回だけ…今日
ただだからね…っ♡

私も…私も変態…
すごい変態女ね…♡

ギシギシ





飲みすぎていい気分になって
背戸口君の暴走を止められず本当に申し訳ない

今後はセクハラ・パワハラには厳しくしていくので
今回は勘弁していただきたい







二人とも
今までで一番いい
顔してるもの

分かるわよ♡



でー
したんでしょ？

はいごめ物。

どうだった？
何回やったの



丸見えね
ウラの顔とか
こたわっても…

気づいてないのは
自分だけだったの
かもしれない

117

—でも

言えるわけ
ないじゃない
一晩中メスブタ特訓して
何回イッたか
覚えてないなんて

そーいうこと聞くの
女同士でもセクハラよ♪



だからセクハラとか
関係ないってんだろ
こっちは何回犯ったか
晩メシ賭けてんのよ

コレが本物の
ウラの顔…

女って怖い…

オラ
吐け



もう一回…
していいですか



藤野くん…

あ…あつ♡

ん…♡



八潮さん…
「イヤ」って
言わなきゃ

でさ…
きう…



特訓ですから

…うん

ああ…
い…イヤ…

どちゃう…



ああ…
んああつ！

い…やあ…あつ♡
あつ♡あつ♡
だ…だめ…♡

グチュッ！
グチュッ！

藤野くん…
ああん♡
ダメ…
ああん♡！

ここも
ダメですか？

あん♡
そそこ♡

んん♡
んん♡

八潮さん…
嫌がらないと特訓に…

ムリ…
無理よお…♡
す…好き
なんだもの♡！

ちゅん♡

ちゅん♡

ちゅん♡

ちゅん♡







さつきから
使われっぱなしでしょ？

少しくらい
ゆっくり食べてね

まただ…

八潮さんはいつも
僕を助けてくれる

いいから

や 八潮さんっ！
僕が…

経理課長の
八潮のどかさん

名前の通り
おっとりとした
優しい人

仕事ぶりは優秀で
同期の中で
一番らしいけれど

社内ではその豊満な
身体で注目を浴びて
いる

唯一の部下である
僕は一番近くて鑑賞
できる恩恵に
あずかれる一方で—

ふん

ふん

おはよー
か

きょ？

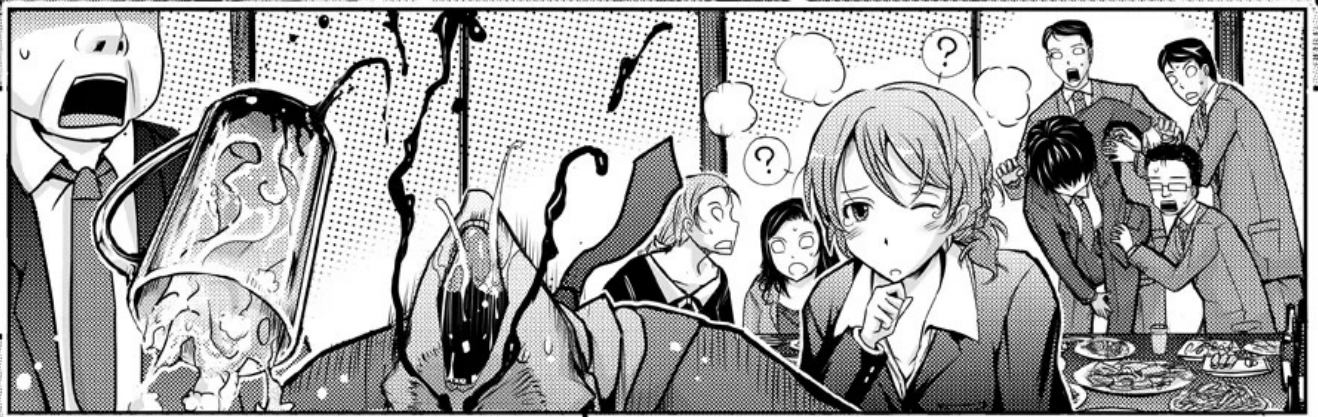
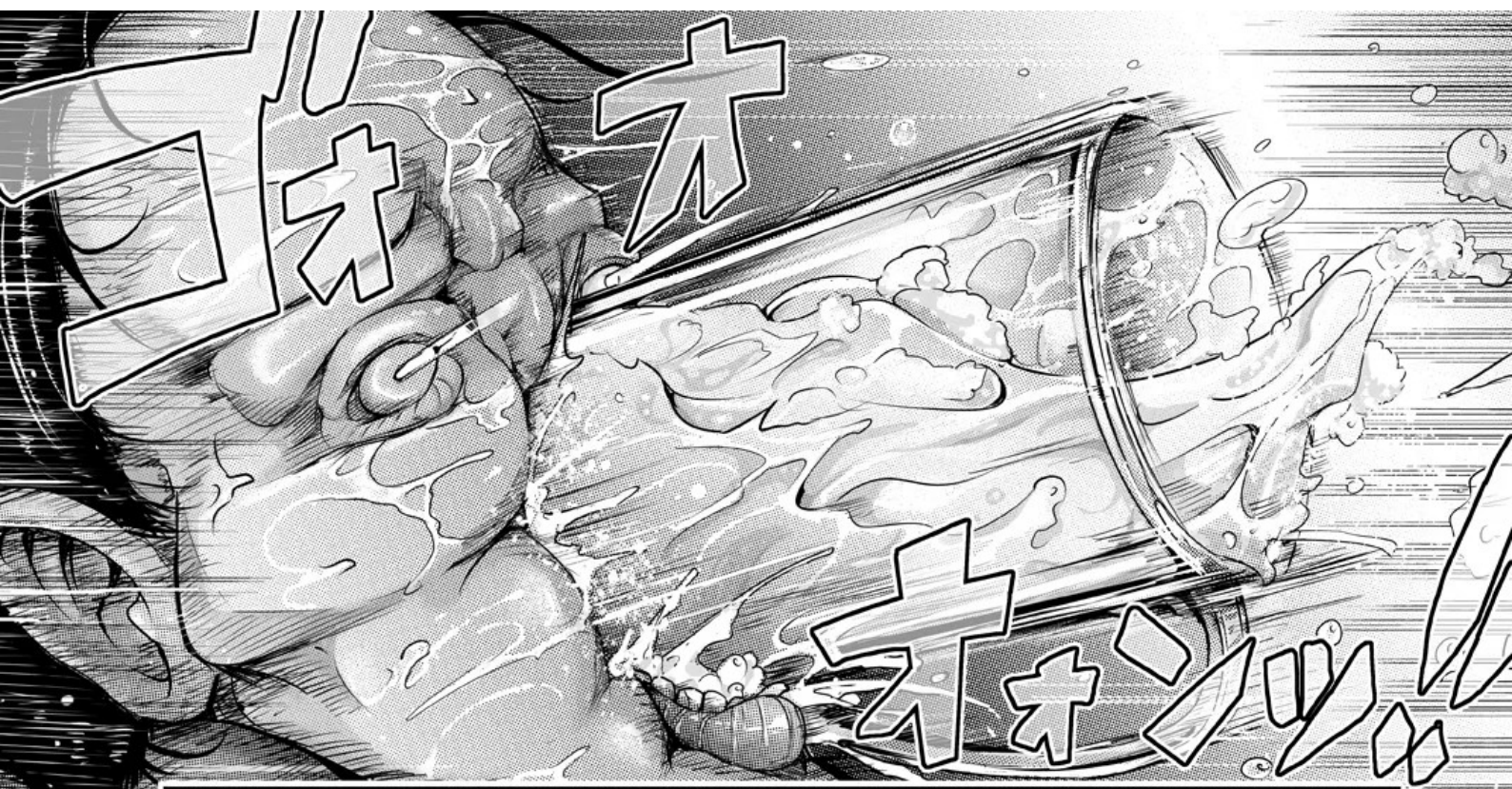
露骨なセクハラを受けても
『イヤ』だとはつきり
言えない彼女の性格に毎日
ヤキモキしている

ホント この人と
同じ歳の女とは
思えない

何やってん
ですか

一発芸
ダイオウイカ









八潮さん…

あのままガマンしても
もっと酷いと言われて
ただろうし…

以前からあんな風に
思われてる節は
あったから

私 いくつか黙って
辞めちゃうのかな…
って思ってた

私も言葉のボールを
力いっぱい投げ返せば
皆からレギュラーだと
認められたのかな



私にも醜い裏の顔が
あるんだから

でも 可哀相な
ヤツだと思わないで



ああいう場で弱くて
健気な女って
思わせといて…

誰よりも勝ち組になって
惨めな男たちを慰撫無礼な
笑みで見下すデキる女…

キミも私が出世
したことを証明する
ための存在

管理職としての
評価を高めるための
『部下一号』くん



八方美人のウラに
ある顔は

そんな
自己中オンナ

——になり
たかったんだけど

もー 全然ダメ

二倍疲れただけで
結局どっちの顔も
上手くできなかったわ

出世欲があるように
見えなかったから
意外でした

ふふ そうね

そもそも何か目的や
目標があったわけじゃ
ないから



耐えてきた時間を
無駄にしたくない
現状を抜け出して
楽になりたい

ただ それだけ
逃げられるわけ
はないのに

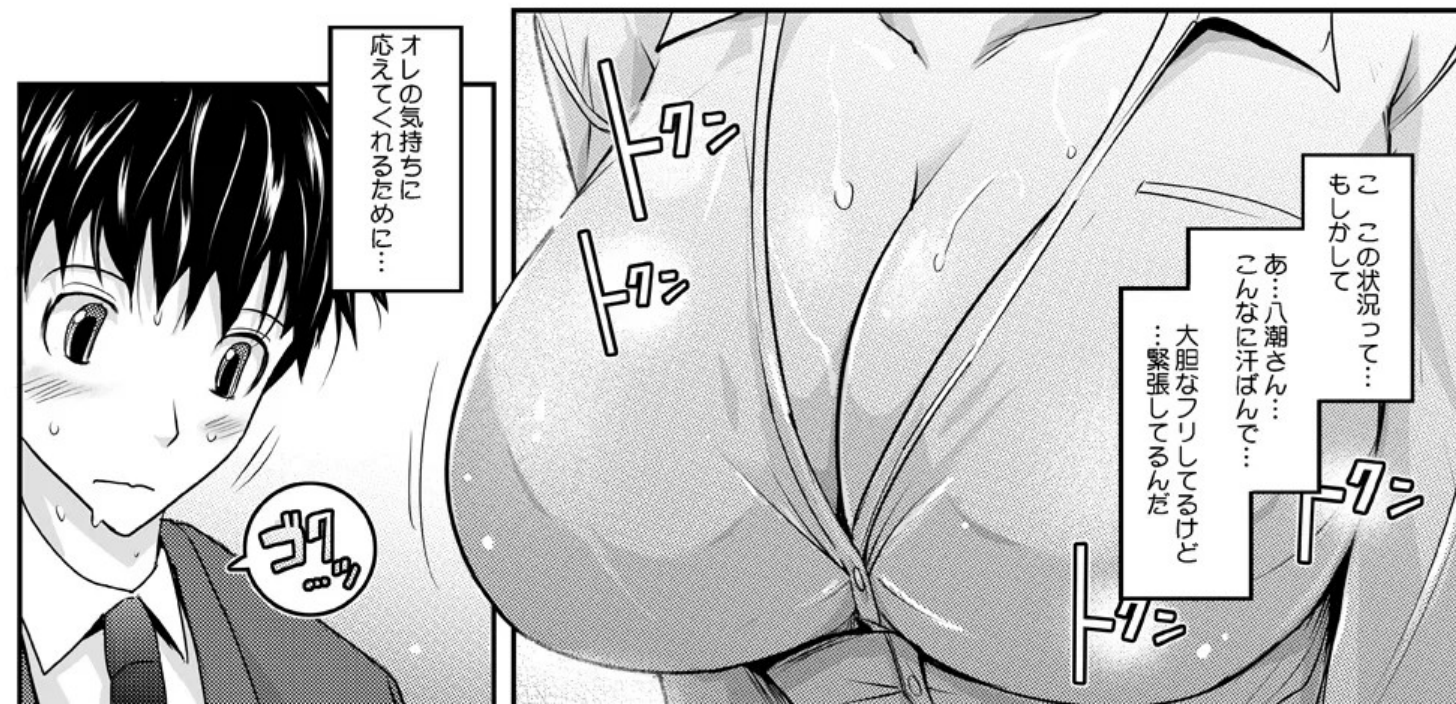
だから
これで良かったの

私が嫌な上司になってたら
キミも嫌な人になって
誰からも嫌われたらどうし

きっと私はキミに
とって ただの
『上司一号』になる







わかりました
厳しくいきますからね

ギョッ

ああの まずは
セクハラ発言の…

はい
分かってますよ

八潮さん…

アイツ
背戸口のニオイがします

顔も髪も首も…胸も…
アイツのタバコと…口臭
まるで舐めまわされた
みたいな…

ちよ…ちよつと待つて！
ストップ—っ！

あ あれは…事故で
ヤダ…ホントに？
ホントにニオイ
ついてる？

だから
消させてください

おちんて

…え？

特訓って言っても
貴女が耐える『だけ』じゃ
今と変わらない

だからといって僕が
貴女を傷つける言葉から
ずっと避衛できるわけ
でもない

だから僕は
八潮さんが耐えた苦痛を
消したい…癒したい

臭いも汚れも傷も
愛せるように

これは僕にとっても
特訓です

…うん

よろしく
お願いします

は…あ

甘いキスは一瞬—
一気に燃え上がるこ

んあ

ん…

んく…っ

んうう…んっ！

ちゅっ♡
ちゅっ♡

るるっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡



すごい八潮さん…
想像してたよりも
ずっと…

ずっと…
なに？

キレイだ

見惚れて
しまうほど…

あいえ…
ドスケベな
身体ですね

そ…そんな…

あいや
特訓です 特訓
八潮さんもイヤ
がらないと
セーリングの
あ…そ…
そうね

い…イヤ…
そんなこと…
やめて…
ああ…んっ

『やめて』？ あの男の
ニオイのほうがいいって
ことですね？

そ…そんなんじや…
あああんっ！
い 意地悪ううっ！

一生懸命やるから…
あ あなたも…
どうすれば気持ち
いいか…とか

どこが気持ちいいとか
…教えてくれる？

もう その言葉だけで
出ちやいそうなん
ですけど

うう…私 今…
すっごく恥ずかしい
こと言ったね

不思議ですよね

女性が恥ずかしい事
言うところなのに興奮
するんですから

わ…すこ…い

濡れてる…ね

さっきからパンツの
中で蒸れてました

臭くてすみません

臭い…かな…
でもキライ
じゃない…

だって…私のこと
見て興奮してくれた
証だもの

キライになる
わけ…ない…

おしろ…
嬉しい…♡

ん…ううっ
んぐうっ

ん…っ



はっ
口の中に……
臭いおちんちん……
欲しいの……♡

はっ
はっ
好き……蒸れた
ニオイ……好き……
藤野くん
の
精液……出して……♡

はっ……はっ

あむ……んっ♡



んちゅっ♡



んっ
あああ……
私も……濡れてる……
藤野くん
に
伝わってるかな

卑猥な言葉で興奮
するのって……キミ
だけじゃないよ……
今までこんな
こと……経験ない……

いつもはこんな……
スケベな女じゃないの……

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

いっみ……出っ……
臭いの……出して……
飲ませてえっ……



とびっ♡
藤野くんのだから……
あなたのおちんちん
だから
もっと舐めたい……
もっと……奥に欲しい

八潮さん……
も……もっ……っ！

しゅっ♡

んっ♡

んっ♡







たった一人の部下
であることは幸せ
でしたけど
同時に直属の上司
という壁がもどかし
かったんです

はじめまして
貴方が藤野くんね
課長の八潮のどか
です よろしくね

課長って呼ばれるの
照れくさいから
名前で呼んでね

スーツに包まれた
柔らかな裸を想像
して…

彼氏いるのかな
…とか

自宅ではドスケベな
下着つけてセックス
してんのかなあ…とか

マンコ見たい
おっぱい触りたい
毎日セックスして
全身を精液
まみれにしたい

そんな妄想が
消えなくてっ
いつもいつも勃起
してっ キンタマ
腫らせてましたっ

こんなセクハラ願望
貴女に会うまで一度も
考えたことなかった！
だから今 この状況が
夢みたいなんです！





八潮さん もっと
お願いします

気持ち…いい…♡

はあ
はあ…

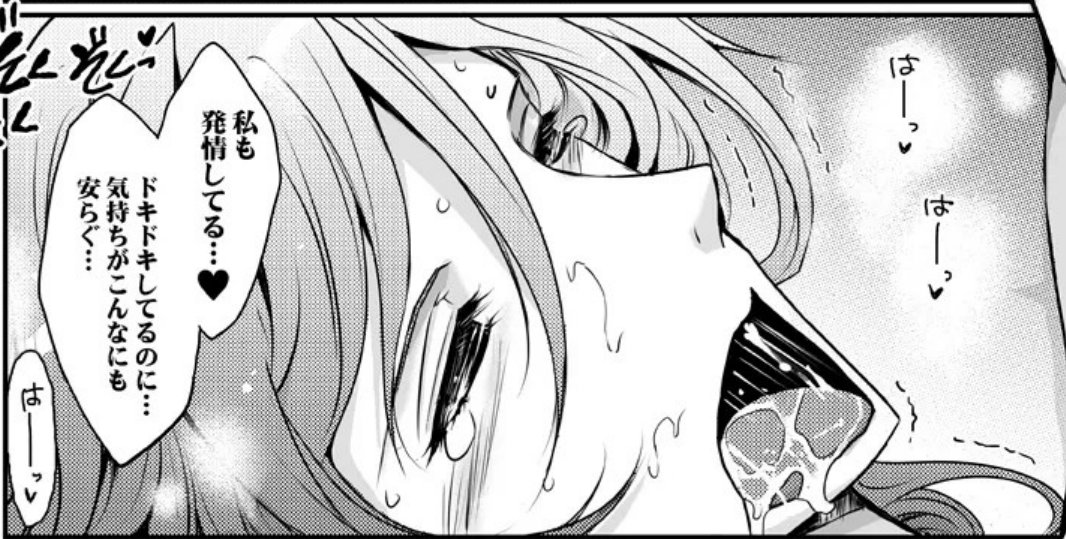
ああ…キンタマ…
気持ちいいよお…♡

ニオイ…絶対…
とれない…



これからずっと
キミの精液のニオイに
包まれて生活するのね…

もう会社も
家も 関係ない…



私も
発情してる…♡
ドキドキしてるのに…
気持ちがいいなにも
安らぐ…



だから…ね…

あとほ コレ…♡

スル…ッ



あつ♡
あああつ!

んああつ…
あんつ♡

んあつ!
あああつ♡

サワサワ

おあ♡

ちんぽっ
ハーン

グチャッ!

グチャッ!

グチャッ!

グチャッ!

グチャッ!

ビクッ!
ビクッ!
ん

く…ああ…
八潮さん…っ
熱い…き…気持ち
いい…ですっ!

ギシ
ギシ

ぐちゃ

ぐちゃ

ズググ

もっとな
ちゅあつ

いい…あああつ…
気持ちいいっ♡

わ私も…
あああつ♡

ふ 藤野…
くんっ!

おあ♡
んあ♡

ズググ
ズググ



藤野くん…
もう…もう…っ

わっ

ぶはあ…今の…
今のキス…
すごい…っ

んく…
んく…
んく…



わたし…怖いよっ
自分が…こんな
オナナだつて
知らなかった…

こんなに淫乱だつて
…知らなかった…っ
いいの？ こんな
私でいいの？

すぎっ
ちゃんぽっ

千代っ

うんっ
してえ…っ
私を…私を…
あなたのチンポ女に
してえ…っ

もちろんですっ
ボクだけの憧れ
だった八潮さん…
もって犯して
ボクだけのチンポ女に
したいですっ！

グゼッ
ギシギシッ

グゼッ

ギシギシッ





あああーっ♡♡♡

あ…あ…♡
せーえき…出てる…
出てるう…♡

は…あ…
嬉しい…♡

藤野くん…
藤野く…ん…♡

痛い言葉も
苦い弱さも
重苦しい自己愛も

甘く溶けていく

その夜
夢に甘えるように

私たちは何度も
『特訓』を重ねた

ギリル…ッ

ズン…ッ
ズン…ッ

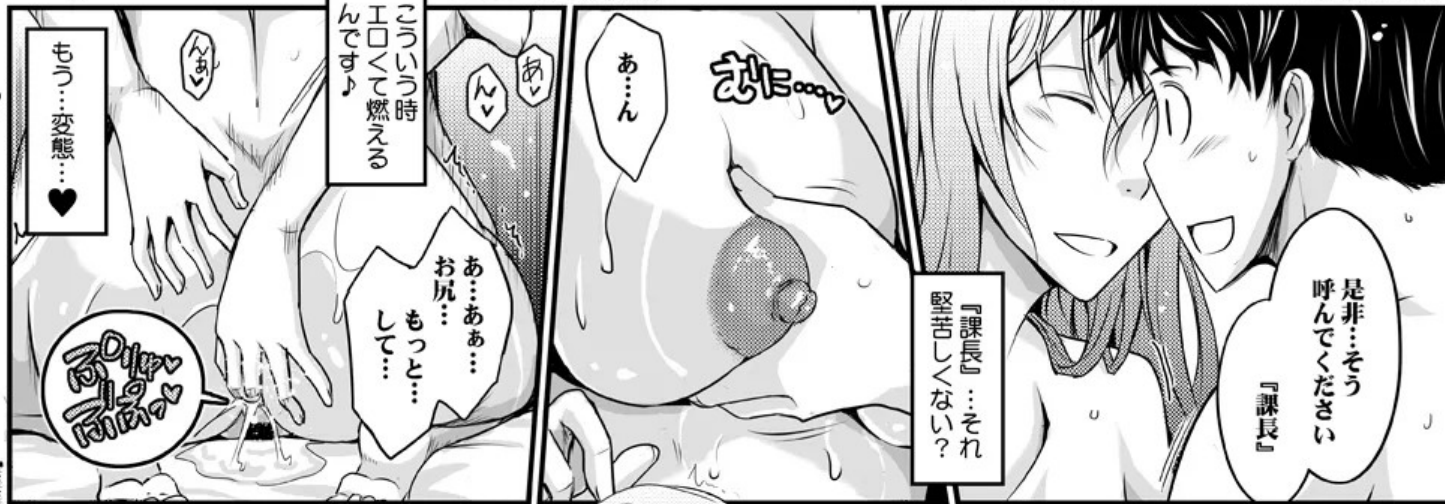




『ナスくん』

…ってね

最初に洋子がそう
呼んだ時『カワイイな』
って思ったの♡



もう…変態…♡

こついう時
エロくて燃える
んです♪

あ…あ…
お尻…
もつと…
して…

あ…ん

なに…♡

『課長』…それ
堅苦しくない？

是非…そう
呼んでください
『課長』



すは-
すは-

ビクン♡
ビクン♡

課長のお尻の…
ケツ穴のニオイ…
エロいです…

だ だめよ…
そんな言い方…っ

下品すぎよ…っ

言ってみてください
一回だけ

い…イヤ…っ
言ったら…私…
また…♡

お願いします
課長

もう…もう…♡
ナスくんの
変態っ 変態いつ♡

一回だけ…今日
だけだからね…っ♡

私も…私も変態…
すごい変態女ね…♡





飲みすぎていい気分になって
背戸口君の暴走を止められず本当に申し訳ない

今後はセクハラ・パワハラには厳しくしていくので
今回は勘弁していただきたい



いえこちらこそ暴力を...
でもなんで部長がそんなにポロポロに？

実はあの後な...

けーっ！
なんだあのガキ！

先輩社員にむかって...
部長クビっすよ
あんなヤツは！



どーせここそとばかりに
お持ち帰りしたただけだろ！

今頃ばっこばこ犯り
まくって中出ししまくって
んじゃねーの！



犬がションベンする
みたいに脚開いてマーキング
でもやってんだろ！

おとなしそうな顔して
案外肉食なんだよ
ああいふ牝豚は！
ピッチ







長時間の会議があった日は、八潮さんは決まって僕をラブホテルに連れ込み淫臭セックスをねだる。

オジサンたちが密集する会議室にいるとタバコの臭い、口臭、体臭などが全身に染みついてしまうから。

「八潮さん 男のニオイ染み付いてますね」

「これ本当に嫌で…今でも気持ち悪いの」

「だからお願い…ナス君のチンポで…チンカスでベタベタに濡れたそのオスチンポで嫌なニオイを消して…」

「臭いのはイヤなんでしよう?」

「ええ だからもつと嫌になるまで…もうイヤって泣くまで私のメスマンコを犯して欲しいの…」

八潮さんの目がトロリととろける。息遣いが熱い。部屋が淫臭で満たされる。メスのニオイに刺激され、ペニスがさらに勃起する。

「ああ…すごいニオイ…でもいくら好きな人のチンポでも臭いのはダメ…好きになっちゃダメ…チンカスなんて絶対好きになっちゃ…はああ…ん♥」

そう これは大好きなチンポをキライになるための特訓——という建前。

「嫌になったらちゃんとやめてって言うから…」
それまでは…ずっと…して♥」

もう何度精液をぶちまけただろう。深夜を超え、もうすぐ朝がやってくる。こようとしている。

「はあんっ んぢゆる…んっ
チンポ…臭いの…もっとお…♥」

だけど、八潮さんは二度も洗っていないドロドロのチンポをしゃぶり、さらなるセックスを求める。

「もう僕の精液のニオイが全身に染み込んでますよ。きつとシヤワリ浴びても着替えても消えませんか」

「まだ…まだよ…もっと欲しい…♥」

「まだキライになつてないから…
あむ…んっ…臭いチンポ…キンタマ…
…ケツ穴も舐めたい…ああ…どどん
臭いの好きになっちゃう…♥」

中出ししてイカせても、八潮さんはすぐにチンポを勃たせるためにメスブタ奉仕を繰り返す。

「もうダメ…ニオイ取れなくていい…
私、ナス君のチンポ女なんだから。
会社でもどこでもあなたのチンポの
ニオイに包まれて暮らしたい…♥」

「じゃあ僕も八潮さんのエロマンコの
ニオイを染み込ませて会社行きますね」

「え…？ ダメ…そんなの…
イヤよ 絶対…♥」

その光景を想像して軽くイッたのか、八潮さんの腰がビクンと跳ねたのだった。



